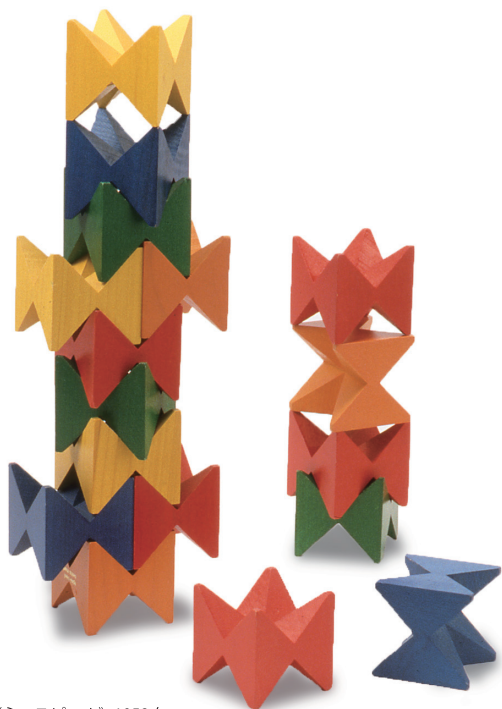


neaf collection



クルト・ネフ《ネフスピール》1958年

武蔵野美術大学 美術館・図書館所蔵

## ネフ・コレクション

—ヨーロッパの木製おもちゃ

〔特別協力〕 武蔵野美術大学 美術館・図書館

# 新収蔵作品展



高田柳哉《平棗大徳寺椿》平成12(2000)年 高田柳哉氏寄贈

2011.1.29  — 2.27 

〔開館時間〕 10:00—18:00 (毎週金・土曜日は20:00まで) \*入場受付は閉館の30分前まで

〔休館日〕 2月7日(月)

〔観覧料〕 一般200(160)円, 大学・高校生150(120)円

\*小・中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

\* ( ) 内は団体30名様以上、および市内在住60歳以上の料金

\*上記の料金の「新収蔵作品展」と「ネフ・コレクション」の両方をご覧いただけます。

〔主催〕 千葉市美術館

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

# 新収蔵作品展

美術館にとって、所蔵作品を知り、守ることはとても大切なことです。それぞれが持つ物語を広げ、コレクション全体を豊かにするために、新たな作品を収集することもまた同じ。このところの財政状況により作品購入はしばらく行っておりませんが、寄贈・寄託という形で所蔵品は着実に増えています。今回の「新収蔵作品展」では、平成17年度以降に寄贈・寄託いただいた作品から、初公開作品を中心にご覧いただけます。狩野芳崖の襖絵《龍図》や伊東深水による若き日の淡彩画、三岸節子のエネルギー溢れる《高原の花》など、時代は江戸時代初期から現代まで、ジャンルも日本画、油彩画、書、版画、漆器、立体造形など多岐に渡ります。コレクターに愛蔵され、あるいはご遺族の手で大切に守られてきた、「愛でる」という鑑賞の原点を教えてくれる作品たちに、どうぞ会いにきてください。

三岸節子《高原の花》昭和38（1963）年 楠原豊松氏寄贈



ネフ社は、1954年、スイスの家具職人だったクルト・ネフによって設立され、その後まもなく、1958年の玩具《ネフスピール》の発表を機に、本格的な玩具制作に取り組みはじめます。シンプルでありながら、複雑な遊びにもつながってゆく形のおもしろさとともに、明快な色彩とその組み合わせが生む楽しげなリズムは、子どもたちばかりでなく大人をも夢中にさせるネフ社の玩具の大きな魅力といえるでしょう。

本展では、武蔵野美術大学 美術館・図書館が所蔵するネフ社の木製玩具を紹介いたします。近代デザインに関する書籍資料に加え、19世紀以降のモダンチェアをはじめとするプロダクト資料は、武蔵野美術大学 美術館・図書館(旧武蔵野美術大学美術資料図書館)の主要なコレクション分野の一つです。今回紹介する玩具は、同館の誇るこの分野の収集資料の中でも、たいへん充実したものといえます。

武蔵野美術大学 美術館・図書館所蔵

## ネフ・コレクション —ヨーロッパの木製おもちゃ—



ベア・クラッセン《アンゲール》1970年

### 関連企画

#### ■当館学芸員ギャラリートーク

「新収蔵作品展」2月9日(水)14:00より

「ネフ・コレクション」2月16日(水)14:00より

#### ■市民美術講座

「喜多川歌麿と錦絵の黄金時代」(「ボストン美術館浮世絵名品展」予告講座)

2月19日(土)14:00より 11階講堂にて 講師：田辺昌子(当館学芸課長代理)

#### □次回展以降の予告

2011年3月5日(土)～3月25日(金) 第42回千葉市民美術展覧会

4月26日(火)～6月5日(日) ボストン美術館浮世絵名品展

### 交通案内

◎JR千葉駅東口より・徒歩約15分・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分 ◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分 ◎東京方面から車では京葉道路または東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚I下車。国道51号を千葉市街方面へ約3km広小路交差点近く。  
◎地下に駐車場があります。 ◎千葉市中央区役所と同じ建物です。



**千葉市美術館**  
Chiba City Museum of Art

〒260-8733  
千葉市中央区中央 3-10-8  
Tel.043-221-2311 (代)  
<http://www.ccma-net.jp>

